

# 会 員 探 訪

## 会社概要

探 訪 先： 山勝工業 株式会社  
設 立： 1947年6月19日  
代 表 者： 取締役社長 金究豊通  
所 在 地： 本社 東京都中央区銀座7丁目15-17



取締役社長  
金究豊通

今回の会員探訪は、東京メトロ日比谷線東銀座駅から徒歩5分という好立地にある山勝工業(株)を訪ねました。本日は、金究社長と金本営業部長にお話を伺いました。

同社は、1884年(明治17年)に銀座で創業し、今年で126周年になります。京橋銀座が東京機械工具商発祥の地と言われていた通り、当時は数多くの機械工具商や町工場がありましたが、時代の移り変わりと共にその数は減少し、現在銀座の機械商は同社のみとのこと。創業当時は東京府京橋区銀座2丁目15番地(現中央区銀座2-8-12)にありましたが、昭和52年7月に移転し現在に至ります。現在社員数は50名、製造部門である関連会社 山勝鉄工(株)(社員数13名)と共に1世紀以上の歴史を持つ機械商社です。主な事業内容は、天井クレーン等の販売代理および製造販売、ユーザーの生産ラインやプラントに応じて機種選定やシステムの構築等コンサルタント・セールス、およびそれら納入機器に対するメンテナンスです。



山口勝藏商店(明治40年頃)

クレーンは、昭和28年に大阪の(株)東亜製作所を引継ぎ、山勝電気(株)を発足させ東芝ホイストの下請製作を開始したのが最初で、昭和37年には『山勝クレーン』ブランドで製造を開始しました。昭和48年に山勝電気を東芝ホイスト(株)と山勝鉄工(株)に分割し、以降同社のクレーンおよび荷役運搬機械の生産部門として現在に至ります。現在では、天井クレーンや橋型クレーン等の製造許可を75種類保有し、最大容量は61.5トンです。中には「特殊型ホイスト式天井クレーン」があり、直列の同型ガータにホイストが移乗することを可能としたホイスト移動型自動搬送システム等の特殊な製造許可も保有しています。山勝電気発足から現在に至るまで、クレーン生産台数は約4000台となっており、当初からの管理リストである「クレーン客先名簿」は、当時のクレーン仕様や販売価格など貴重な資料が今も現存しています。

また、同社は『クレーン = 物を運ぶ』として、顧客ニーズに合った数々の自動搬送装置を作り上げています。顧客はただイメージをするだけ、例えばある場所に集荷されたドラム缶を8本→7本→8本と交互に運び5段重ねで集積し、それをまた別の場所にクレーンにて移動・集積したい…という希望を出します。同社はこのような多様なニーズに的確に対応するために、700社にも及ぶ仕入先(メーカー)とのつながりを持っています。これらの豊富な情報を巧みに組み合わせ、顧客が求めているものに最適なライン設定を提案するところこそ、コンサルタント・セールスの意義はあるとしています。「出来ないものはない」という金本営業部長の力強いお言葉が今までの実績を表している気がします。創業200周年に向けたスタートは既に切られています。いつまでも銀座で、更なるご活躍を祈念いたします。



多数ドラム缶の全自動物流搬送システム

探訪者 伊藤光生・久保 克・小林克彦